
安全性向上評価制度の改善・活用について

2022年8月18日
原子力エネルギー協議会
(ATENA : Atomic Energy Association)

はじめに

CNO意見交換会において事業者からの安全性向上評価制度の改善・活用に係る内容について以下のとおり課題を提案。

【九州提案（第13回 2021年10月15日）】 <参考資料 1 >

- 課題 1 : 安全性向上評価届出を活用した許認可手続きの合理化 → 3
- 課題 2 : PRA 及びストレステストの運用見直し → 2
- 課題 3 : 速やかな安全性向上策の実施を可能とする運用の構築 → 3
- 課題 4 : 安全性向上評価届出の運用の合理化 → 2

【関西提案（第14回 2022年4月19日）】 <参考資料 2 >

- 課題 1 : 安全性向上評価届出の運用改善について → 2
- 課題 2 : より迅速な安全性向上に向けた取り組みについて → 3

第14回の意見交換の中で、個社マターで実施するものと、事業者全体で実施するものを分けて対応するようご意見があったが、5月18日のNRA-関西電力の面談にて、「制度全体に関わるものなので、効率を考慮すると、個別に議論していくべき事項ではなく、今後、すべての発電用原子炉設置者と議論していくべき事項」と整理された。

本日は、これらの課題のうち運用改善に係る事項について、検討状況をご説明する。

課題の整理（1 / 2）

課題について、時期等の見直しといった運用改善と許認可等の内容に影響あるものに整理。

I 安全性向上評価届出の運用改善【九州電力（課題4）、関西電力（課題1）】

<対応内容>

- ・届出第1章の引用図書への紐づけ
第1章のうち設計情報を引用図書と紐づけ情報を集約化し、必要な場合には原子力規制検査での確認とするしくみ
- ・届出単位・届出頻度の柔軟な設定
発電所の保安活動やプラント特徴等を考慮した柔軟な届出単位・届出頻度の設定を可能とすることよりさらなる改善につなげるしくみ

II PRA 及びストレステストの運用見直し【九州電力（課題2）】

<対応内容>

- ・事業者が計画を示し、評価実施時期の柔軟性を確保する

Ⅲ 速やかな安全性向上策の実施を可能とする運用の構築【九州電力（課題3）】

<対応内容>

- ・安全性向上評価を活用して安全性向上に係る取組みについて規制庁と事業者が意見交換するしくみの構築

Ⅳ 安全性向上評価届出を活用した許認可手続きの合理化【九州電力（課題1）】

<対応内容>

- ・安全性向上評価制度を活用し、許認可を経ず安全性向上対策ができる範囲を定めたガイドラインの整備

Ⅴ より迅速な安全性向上に向けた取組み【関西電力（課題2）】

<対応内容>

- ・審査基準の一部では、具体的仕様を求められており、その運用を見直す。（性能規定化）